

②8 スイートコーンを育てよう

支柱を立てしっかり固定

スイートコーンは、トウモロコシの中でも甘みが強い品種の総称です。マヤ、アステカ文明はトウモロコシを主食として発達したといわれ、米や麦と並び古来より重要な穀物として栽培されてきました。スイートコーンは品種改良が進み、甘みが強く、生のまま食べられるものが増えています。糖度は15度前後にもなり、メロンより甘い品種もあります。

①畑の準備

種まき2週間ほど前に、苦土石灰を1平方メートルあたり100グラム施します。その1週間後に、1条植えの場合はうね幅60センチ、2条植えの場合は100センチのうねを立てながら溝を作り、

元肥に1平方メートルあたり堆肥3キログラム、化成肥料(成分15:15:15)200グラム、ヨウリン30グラムを全面に散布し20センチの深さで耕します。

②種まき

種まきは株間30センチぐらいで、1カ所に3粒ずつまき、2〜3センチの深さになるように覆土をします。カラスやハトの多いところでは、種を食べられる被害が出やすいので、種をポリ鉢などにまいて、補植用の苗を作っておきます。

③間引き

本葉2枚のころ、1カ所に2本立ちになるように生育の悪い苗を抜き取ります。その後、本葉5、6枚になったら、2回目の間引きをし、1本立ちにします。

④追肥・土寄せ・台風対策

1回目は、1本立ちにした時、1平方メートルあたり追肥用化成肥料30グラムを施し、株元に土寄せをします。2回目は、先端に穂(雄穂)が出る頃に、1回目の追肥の反対側に1株あたり30グラムを追肥し、土寄せをします。また、台風や突風等の風で倒れないように支柱を立ててしっかり固定します。

⑤害虫防除

アブラムシ、アワヨトウ、アワノメイガが発生しやすいので、シルク(雌穂、雄穂)の部分に殺虫剤を散布



します。

⑥摘果

1株に、1〜2つだけ残します。1番下の雌穂は実入りが悪いので、シルクが出る前に摘み取って、ヤングコーンとして利用します。

⑦収穫

シルクが出て20〜25日して、シルクがこげ茶色になった実を外から触れ、中の実が充実したのから収穫します。収穫後は、糖度が日を追って下がるので早く食します。

(鹿児島市都市農業センター)